

平成30年度劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

成果報告書

団 体 名	公益財団法人キラリ財団	
施 設 名	富士見市民文化会館キラリふじみ	
助成対象活動名	公演事業、普及啓発事業	
内定額（総額）	26,326	（千円）
公 演 事 業	22,265	（千円）
人材養成事業		（千円）
普及啓発事業	4,061	（千円）

(2) 平成30年度実施事業一覧

【公演事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	二兎社『ザ・空気ver.2 誰も書いてはならぬ』	2018年6月17日(日)	作・演出：永井愛 出演：安田成美 眞島秀和 馬淵 英里何 柳下 大 松尾貴史	目標値	460名
		メインホール		実績値	709名
2	サーカス・バザール	2018年7月7日(土)、8 日(日)	舞台美術＋空間デザイン：島次郎 サーカス構成：アフタークラウ ディカンパニー 出演者：クロ ワッサンサーカス、ほか	目標値	5,000名(有料公 演1,100名)
		全館		実績値	2,685名(有料公 演957名)
3	東京デスロック＋第12言 語演劇スタジオ『ガモメ カルメギ』	2018年7月27日(土)、 28日(日)	原作：アントン・チェーホフ「か もめ」 脚本：ソン・ギウン 翻 訳：石川樹里 演出：多田淳之介 出演：夏目慎也 佐山和泉 ほか	目標値	240名
		マルチホール		実績値	245名
4	genre:Gray企画 ヒトカ タ遣い×モノ遣い	2018年5月25日(金)、 26日(土)	構成・人形美術・出演 飯田美千 香 作劇・演出 黒谷都 出演 塚田 次美	目標値	200名
		マルチホール		実績値	181名
5	橋爪功・夜の朗読	2018年11月15日(木)	色川武大『見えない来客』、小泉 八雲『守られた約束』『破られた 約束』 出演：橋爪功 演出：内藤裕子	目標値	460名
		マルチホール		実績値	355名
6	日本・インドネシア・マ レーシア国際共同制作 『BEAUTIFUL WATER』	2018年10月5日(金)～7 日(日)	演目：『BEAUTIFUL WATER』 構成・演出／多田淳之介 Bambang Prihadi (インドネシア) Jo Kukathas (マレーシア)	目標値	600名
		マルチホール		実績値	342名
7	キラリ音楽祭2018～明日 のために今日をはじめる ～	2018年10月27日(土)	出演：石川セリ Lamp 篠崎正嗣カルテット 浜口茂外也 (Per) 阿里松慶一 (Ba) 矢野誠 (Pf/音楽監督)	目標値	470名
		メインホール		実績値	313名
8	ふじみ 大地の収穫祭	2018年11月23日(土)		目標値	800名
		マルチホール		実績値	3,950名
9	万作の会 狂言公演	2019年1月9日(水)	『二人大名』『千切木』 出演：野村万作 野村萬斎 ほか	目標値	510名
		メインホール		実績値	651名
10	ニューイヤーコンサート 2019	2019年1月26日(土)	出演：前橋汀子ほか 企画：西巻 正史(トッパンホールプロデュー サー) 企画協力：トッパンホー ル	目標値	400名
		メインホール		実績値	437名
11	『Mother-river Homing』『Mother-river Welcome』2本立て交互上 演	2019年2月23日(土)～3 月3日(日)	作・演出：田上豊 出演：羽場睦子 伊藤昌子 櫻井章 喜 用松亮 中林舞 斎藤淳 田中 美希恵 ほか	目標値	1,150名
		マルチホール		実績値	872名
12	キラリ☆かげき団 第13 回公演	2019年3月16日(土)～ 17日(日)	オペラ『まげもん—MAGAEMON—』 台本：鄭義信 作曲・音楽監督： 萩京子 出演：大石哲史 出演：キラリ☆かげき団 ほか	目標値	570名
		マルチホール		実績値	588名
平成30年度の目標値、実績値				目標値	10,860名 (NO.2有料公演 1,100名)
				実績値	11,328名 (NO.2有料公演 957名)

(2) 平成30年度実施事業一覧

【普及啓発事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	リージョナルカンパニー ACT-F	2019年3月24日(日)	成果発表『超☆フェスティバル!!!』 カンパニーディレクター：多田淳之介 美術：杉山至ほか	目標値	参加者数 25名 入場者数 500名
		マルチホール		実績値	参加者数 32名 入場者数 222名
2	キラリふじみ・ダンスカ フェ	2018年6月2日(土)ほか	出演：白神ももこ、長峰麻貴、かえる P、涌田悠、長尾晃司ほか	目標値	280名
		アトリエ		実績値	241名
3	夏休みこども劇場『えん げきをつくろう』	2018年7月30日(月)～8 月5日(日)	講師・進行：NPO法人演劇百貨店	目標値	参加者数 20名 来場者数 80名
		マルチホール		実績値	参加者数 13名 来場者数 32名
4	キラリふじみのアトリ エ・フォーラム	2018年7月23日(月) ほか	『ガモメ カルメギ』関連企画 『2人 の作品づくり、これまでとこれか ら。』ほか	目標値	280名
		アトリエ ほか		実績値	84名
5	小中学校へのアウトリー チ・ワークショップ	2018年10月～2019年3月	平田オリザ、田上豊、東海林尚文、塩 津圭介、万作の会ほか	目標値	1,225名
		富士見市立西中学校 ほか		実績値	1,076名
6	ツナがる演劇～中高生の 最初の一歩～	2019年3月27日(水)～ 31日(日)	講師・進行：NPO法人演劇百貨店	目標値	参加者数 10名 入場者数 20名
		スタジオA		実績値	参加者数 9名 入場者数 27名
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	2,440名
				実績値	1,736名

【妥当性】

自己評価

社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。

当館のミッション〈文化芸術活動による地域振興〉の実現にむけ、平成23年度より以下の3つのステップに沿って事業の充実化を図ってきた。

- ①幅広い舞台芸術の鑑賞と創造への参加の機会の提供
- ②市民が地域や自らの可能性を発見し開花させるための場や機会の創出
- ③市民が心豊かに暮らせる地域社会の創成

昨年度はステップ①の事業として「(2)実施事業一覧」の「公演事業」にある12事業、「普及啓発事業」にある6事業を実施し、鑑賞と創造への参加の機会の充実を図った。

ステップ②については以下の市民協働・参加型事業を実施し、市民の力を活かしていくための場や機会を生みだした。

- サーカスバザール
- ふじみ大地の収穫祭
- リージョナルカンパニーACT-F
- キラリ☆かげき団公演
- 小中学校へのアウトリーチ・ワークショップ

以上の事業により、ステップ③「市民が心豊かに暮らせる地域社会の創成」へ着実に歩を進めることができた。

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

◎創造活動の成果

市民の財産となる舞台作品＝レパートリーの創造活動として、以下の事業で画期的な成果をあげた。

- 多田淳之介構成・演出 国際共同制作『BEAUTIFUL WATER』
※本作は文化庁国際芸術交流支援事業の助成を受け、令和2年3月にインドネシア・マレーシア公演を予定。
- 田上豊作・演出『Mother-river Homing/Welcome』2本立て一挙再演
- 永井愛作・演出『ザ・空気ver. 2』初演（読売演劇大賞選考委員特別賞受賞）

◎市民協働・参加型事業の成果

以下の市民協働および市民参加型の事業を行って、「文化芸術活動による地域振興」にむけて着実に成果をあげた。

- リージョナルカンパニーACT-Fの地域施設への出張公演、ワークショップ
- 市民協働型事業「サーカス・バザール」と「ふじみ大地の収穫祭」
※上記事業を担う市民は、当館の活動全般の強力なサポーターに成長している。
※上記事業を通じて、市民同士に新たな交流や協力関係が生まれている。

【有効性】

自己評価

目標を達成したか。

◎公演事業

以下の3つを重点的目標とした。

①オリジナル企画中心の事業

市民の多様なニーズに応えるため、当館のオリジナル企画中心の事業展開を図った。計画通り、9つのオリジナル事業を実施した。

②創造型事業の充実

当館ならではの個性豊かな作品創造を、計画通り5本行った。
前項の「妥当性」でも挙げた通り、以下の事業で大きな成果を上げた。

- 多田淳之介構成・演出 国際共同制作『BEAUTIFUL WATER』
- 田上豊作・演出『Mother-river Homing>Welcome』2本立て一挙再演
- 永井愛作・演出『ザ・空気ver. 2』初演

③市民協働によるまちづくり事業

市民との協働を通じて「文化芸術活動による地域振興」を目指す以下の2事業を計画通り行った。とくに「ふじみ大地の収穫祭」では商工会等の組織との連携が進展し、多くの来場者を集めることができた。

- 「サーカス・バザール」「ふじみ大地の収穫祭」

◎普及啓発事業

以下の2つを重点的目標とした。

①幅広い年齢層や多様なニーズに対応する事業展開

昨年度は、多田淳之介芸術監督が指導する市民参加の「リージョナルカンパニーACT-F」の最終年で、前2年の蓄積を生かして、市内施設等への出張公演などを多角的に展開した。

平成28年度に開始した白神ももこが企画する「ダンスカフェ」では、前年度までの蓄積を生かしながら、参加アーティストや作品内容を充実させ、多角的なダンスの普及啓発活動で行った。

②地域の文化芸術活動の担い手育成

アウトリーチ・ワークショップでは、市内在住のプロの音楽家によるプログラムを用意し、メニューの充実化を図ったことで、小中学校9校・33クラスから実施の要望があった。

また、ACT-Fでは市内の文化芸術活動の担い手を育成し、アウトリーチ・ワークショップではすでに担い手として活躍する市民とのネットワークを構築した。

【効率性】

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。
アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

◎公演事業

〔事業期間について〕

平成30年6月の二兎社『ザ・空気ver.2 誰も書いてはならぬ』上演を皮切りに、平成31年3月のキラリ☆かけき団第13回公演までの全12事業を、全体においても各個事業においても、当初予定した事業期間で順調に実施することができた。

インドネシア・マレーシアとの国際共同制作公演『BEAUTIFUL WATER』や『Mother-river Homing & Welcome』2本立て一挙再演などの規模の大きな公演では、それぞれ約2年前から上演に向けて綿密な計画を立てて準備を進め、作品づくりや広報・集客の面において大きな成果を収めることができた。

〔事業費について〕

事業費の実績は、当初の予算総額70,035,000円に対し、決算額69,490,296円（執行率99.2%）で、計画通りに予算を執行することができた。

◎普及啓発事業

〔事業期間について〕

最終年を迎えた「リージョナルカンパニーACT-F」は、3カ年計画に沿って、地域の文化芸術活動の担い手を目標通りに育成することができた。

その他の事業も計画通り、適切な期間で実施することができた。

〔事業費について〕

「リージョナルカンパニーACT-F」「ダンスカフェ」等の事業費の実績は、当初の予算総額8,690,000円に対し決算額7,177,093円（執行率82.6%）で、概ね計画通りに予算を執行できた。

ドキュメンタリー映画製作・上映『富士見の芸能と文化（仮）』等の2事業はスケジュール等の事情により中止した。

但し、それを代替・補完する事業として、平成28年度に文化庁から補助を受けて制作したドキュメンタリー映画『食べること 生きること』の上映会を、「ふじみ大地の収穫祭」等の関連プログラムとして計2回実施した。

【創造性】

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

◎多田淳之介芸術監督（任期・平成22～30年）の最終年度の活動

多田淳之介は芸術監督就任2年目の平成23年度より、幅広い事業展開を目指して「アソシエイト・アーティスト」制を導入し、他のアーティストとともに、高い芸術性と専門性をあわせもった当館ならではのオリジナル作品の創造や市民との創造活動を行ってきた。

昨年度は、多田監督の演出による公演事業として以下の2つを行った。

- 東京デスロック+第12言語演劇スタジオ『カルメギ』
- 国際共同制作『BEAUTIFUL WATER』

『カルメギ』は多田が主宰する劇団と韓国の演劇人の共同制作作品で、2014年の韓国初演では外国人演出家として多田が初めて東亜演劇賞を受賞した秀作であり、それを再演した。

『BEAUTIFUL WATER』は多田とインドネシア・マレーシアの演劇人との共同制作で、日本を含めたアジア3カ国に共通する社会的テーマをもとに、ワークショップなどによる新しい集団創造の方法で創作初演し、画期的な成果をあげた。

多田芸術監督の9年間の活動の集大成として、先進的な海外との共同制作の2作品を上演することができた。

◎アソシエイト・アーティスト白神ももこ、田上豊の活動

当館の次期芸術監督（任期・令和元年4月～）への就任が平成30年9月に決まった白神、田上の活動として、以下を行った。

白神ももこは、2016年度に開始した「ダンスカフェ」を昨年度も継続し、多様なスタイルをもったダンサーの作品鑑賞の機会を地域で暮らす市民へ提供し、コンテンポラリーダンスの普及啓発について着実に成果を積み上げた。

田上豊作・演出の『Mother-river Homing & Welcome』2本立て一挙再演は、ここ数年来の当館での田上の創造活動の集大成的な公演である。

昨年度の公演事業の中核的なプログラムとして実施し、多くの観客を集めて高い評価を得ることができた。

【創造性】

自己評価

地域の実演芸術の振興など、地域の文化芸術の発展につながっていた（と認められる）か。

当館ならではのユニークなスタイルをもった市民協働・参加型の事業として、以下の二つのプログラムを継続的に毎年実施している。

◎サーカス・バザール

平成24年に開始し、毎年7月に行われる本イベントでは、サーカスのパフォーマンスと市民が出店するマーケットが全館を会場に繰り広げられ、毎年市民を中心とした多数の来場者が訪れる幅広い層の市民に人気の事業である。

富士見市では商工会が主体となり商業や農業分野における「地産地消」の活動を市内で推進しているが、当館が企画する本事業により、年代的にも地域的にも幅広い範囲の市民が、富士見市の地産地消の活動に関心を持つようになっている。

また本事業では、商業や農業の垣根や、住んでいる地域の違いを越えて、市民の間に新しい交流や連携関係が生まれいる。さらにそうした市民は当館のサポーターとなって、様々な事業に対して協力や支援をしてくれるようになっている。

◎ふじみ 大地の収穫祭

「サーカス・バザール」での市民との出会いの経験を活かし、祭りの再生を通じてまちづくりを目指すイベント「ふじみ大地の収穫祭」を平成29年度から開催し、昨年度は第2回を開催した。

当館は、商業や農業やまちづくりの分野で活動する市民が参加する実行委員会を組織し、本事業を実施している。

当館のホール内やロビー空間などに、郷土芸能が演じられる舞台や農家がつくる料理が並ぶ出店コーナーなどを設けて、地域の人々が創意工夫しながらすべて手作りで祭りをつくりあげている。

本事業をきっかけとして、衰退が目立っていた獅子舞やお囃子などの地域の伝統芸能の活性化を目指す動きが始まっている。

またサーカス・バザールと同様、本事業を通じて、様々な市民の間に新たな交流や連携関係が生まれている。さらにそうした市民は当館のサポーターとなって、様々な事業に対して協力や支援をしてくれるようになっている。

【持続性】

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展した（と認められる）か。

当館は、マネージャー、芸術監督、館長そして舞台技術者などの専門的人材を配置したうえ、館の貸館業務全般を担う「管理担当」と、主催事業の企画・運営などの業務を担う「事業担当」との2担当制をとり、各担当の業務分担を明確にしている。

さらに当館は開館以来、公演時のチケットもぎり、客席案内業務、託児サービスなどの業務を市民ボランティアが担っており、市民のサポーター育成に持続的に取り組んできた。

多田淳之介芸術監督とアソシエイト・アーティストによる新体制になってからは、これまでの市民ボランティアの充実に加えて、事業の発展的な展開に連動した新たな市民サポーターの育成を計画し実行してきた。

その成果の一例として、幅広い市民が交流し協働する場として市民に定着している『サーカス・バザール』や、地域の祭りの再生を通じてまちづくりの実現を目指すイベント『ふじみ大地の収穫祭』では、企画の進行や構成段階から、地域のおやこ劇場、商工会、農業団体、地元の獅子舞、お囃子、神輿の保存会など、商業や農業やまちづくりの分野で活動する市民が参加し、彼ら自らが実行委員会メンバーとして参加し、当館を事業を活用した新しい形での地域再生に取り組んでいる。

また、新体制以降、市民の事業の担い手の育成にも努めてきた。多田淳之介芸術監督が指導し、市民が自ら創造性や主体性を発揮する、創造活動と普及啓発活動の二つの機能を統合した新たな市民参加事業「ACT-F」は、3年計画の最後の年度となり、現在は、市民劇団のメンバーによる、市内の老人介護施設、幼稚園等でのアウトリーチ活動が自主的に行われるようになった。

市内の小中学校へのアウトリーチ・ワークショップには、プログラムに市民のプロの音楽家によるワークショップを取り入れている。講師自身が各校と実施内容を打ち合わせ、生徒の様子や学校の要望にきめ細やかに対応している。